

電子データで閲覧する場合は、
項目をクリックすると、該当ページに移動します

1 章	子どもの成長過程	5
	子どもの成長を支える	5
	子どもの成長過程と生じやすいつまづきや困難さを知る	5
	切れ目ない支援体制づくり	5
	子どもの成長過程	6
2 章	1 年間の流れ：校種別及び役割別	7
	チームとしての体制づくり	7
	校内支援体制づくりにおける役割	7
	校種による違いを知る	7
	[校種別の 1 年間の流れ]	
	小学校	8
	中学校	9
	高等学校	10
	[役割別の 1 年間の流れ]	
	校長の役割	11
	特別支援教育コーディネーターの役割	12
	学級（ホームルーム）担任の役割	13
3 章	学校経営	14
	誰一人取り残さない学校づくり	14
	関連する通知等	14
4 章	校内委員会	19
	校内委員会の役割	19
	校内委員会の時期・内容・流れ（例）	19
	校内委員会の構成	20
	校内研修の企画・立案	20
	ケース会議の開催	21
	就学・進学等	22

5 章	連携	24
	連携の重要性	24
	連携ツール	24
	連携する相手（関わる主体）	24
5 - 1	教職員間の連携	25
	教職員間の連携の重要性	25
	連携ツール	25
	年度始めの連携	25
	学期ごとの連携	26
	年度末の連携	26
	随時行う連携	26
	コラム：発達障害ナビポータル	26
5 - 2	保護者との連携	27
	保護者との連携の重要性	27
	連携ツール	27
	保護者との連携場面	28
5 - 3	学校間の連携	29
	学校間の連携の重要性	29
	連携ツール	29
	学校間の連携場面	30
	小学校就学時（幼稚園・保育園等から小学校等へ）	30
	中学校進学時（小学校から中学校等へ）	30
	高等学校進学時（中学校から高等学校等へ）	30
	高等学校卒業時（高等学校等から進学・就労先へ）	30
5 - 4	関係機関との連携	31
	関係機関との連携の重要性	31
	連携ツール	31
	教育機関等との連携場面	31
	保健・医療・福祉との連携場面	32
	労働機関との連携場面	33
5 - 5	関係機関・専門スタッフの役割	34
	コラム：NISE「特別支援教育リーフ」「生徒指導リーフ S」	38

6 章	個別の教育支援計画及び個別の指導計画	39
	個別の教育支援計画及び個別の指導計画とは	39
	個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成の流れ	39
	個別の教育支援計画及び個別の指導計画の活用場面	41
	個別の教育支援計画及び個別の指導計画の引継ぎ	42
7 章	集団づくりと個に応じた指導・支援	43
	集団づくりと個に応じた指導・支援	43
7-1	指導・支援の考え方	44
	教室の中にある多様性	44
	重層的な指導・支援	44
	子どもの言動の捉え方	45
	特別支援教育の視点に立った「個別最適な学び」	45
	個に応じた学びのスタイル	46
	子どもの学びのスタイルと教師の学びのスタイル	47
	段階的な支援で「自分でできる力」に変える	48
	コラム：「苦手さを補う」＋「強みを生かす」＋「力を伸ばす」	48
	「どれか」ではなく「全部」	48
7-2	学級（ホームルーム）経営	49
	学級（ホームルーム）経営の充実と子どもの発達を支える指導の充実	49
	学級（ホームルーム）経営におけるルールとの視点	49
	学級（ホームルーム）経営におけるリレーションの視点	51
	コラム：「ボトムアップ」と「トップダウン」 比重の変化	51
7-3	学習評価	52
	特別な教育的ニーズのある子どもの学習評価の考え方	52
	特別支援教育の視点からの学習評価のポイント	52
	多様な評価方法の例	53
	テストや定期考査等における合理的配慮	53
	個別最適な学びの視点からの自己評価「自ら学習を調整する」	54
7-4	困難さの背景及び実態例と支援方法	55
	困難さの背景と支援方法	55
	コラム：場面かん黙とは 基本的な対応	57
	聞くことの困難さ	58

話すことの困難さ	60
読むことの困難さ	63
書くことの困難さ	67
計算することの困難さ	71
推論することの困難さ	74
粗大運動（大まかな動き）の苦手さ	78
微細運動（細かな動き）の苦手さ	81
コラム：「ユニバーサルデザイン」と「インクルーシブデザイン」	83
日常生活場面での困難さ	84
不注意	87
多動による困難さ	91
対人面の困難さ	93
こだわりによる困難さ	97
使いやすい文房具	100
特性に応じた支援グッズ	106
コラム：吃音とは 基本的な対応	107
東京大学先端科学技術研究センター LEARN 「魔法のキャラバン」	108
参考文献・引用文献	109

